

主催：横浜国立大学D&I教育研究実践センター 共催：横浜市教育委員会

インクルーシブ教育について 一緒に考えてみませんか？



—ともに学び、ともに育つ私たち、インクルーシブ教育に支えられる私たち—
多様な個性や学びのスタイルを、ひとつの社会で共有しているのが私たちの世界です。今一度、インクルーシブ教育について考えてみませんか？
『ちょっとした理解やサポートが、教育の場を変える』
ひとりひとりができることは、ほんの小さなことかもしれませんが、
でも、その小さな行動や意識の変化の積み重ねが、すべての子どもたちにとって学びやすい環境をつくり出します。



第2回 横浜国立大学D&I教育研究実践センター 公開シンポジウム

令和7年1月29日(水) 13:00>>17:00 (会場受付開始/12:30)

開催場所 横浜市港北区民文化センター・ミズキーホール

オンライン Zoomウェビナー・Youtube

対象 どなたでもご参加いただけます (要事前申込・参加費無料)

定員 対面の場合・先着400名

(400名を超えた場合は、オンラインのご案内をいたします)

申込締切 1月19日(日)

参加申込▶



<https://ynu-d-i.jp/topics/r6-nizi/>

お問い合わせ先
横浜国立大学 D&I教育研究実践センター
Tel:045-339-3051



<内容>

- 13:00 【オープニング】
『オヤジ〜ズの語り場ーオヤジの時代ー』
- 13:10 【開会の挨拶】
梅原出 (横浜国立大学・学長) 他
- 13:25 【対談】
『パラリンピアンが考えるインクルーシブ教育』
マセソン美季 氏 (日本パラリンピック委員会『I'mPOSSIBLE』日本版事務局・プロジェクト
マネージャー/パラリンピアン)
花岡伸和 (横浜国立大学D&I教育研究実践センター/パラリンピアン)
高野陽介 (横浜国立大学D&I教育研究実践センター)
- 13:55 【横浜国立大学D&Iセンター・横浜市教育委員会 活動紹介】
古川晶大 氏 (横浜市教育委員会事務局学校教育企画部特別支援教育課・首席指導
主事)
中知華穂 (横浜国立大学D&I教育研究実践センター)
- 14:25 (休憩 10分)
- 14:35 【パネルディスカッション①】
『中学校におけるインクルーシブ教育と合理的配慮について』
<話題提供者>
横浜国立大学教育学部附属横浜中学校・現職教員
横浜市・現職教員
五島脩 (横浜国立大学D&I教育研究実践センター)
金城尚義 (横浜国立大学D&I教育研究実践センター)

<指定討論者>
菅原崇 氏 (虎ノ門法律経済事務所・副所長・海老名オフィス長・弁護士)
長見麟太郎 氏 (横浜国立大学・学生)
- 15:45 (休憩 10分)
- 15:55 【パネルディスカッション②】
『インクルーシブな社会を目指した地域と学校の役割』
<コーディネーター>
泉真由子 (横浜国立大学・理事・副学長・D&I教育研究実践センター長)
<パネリスト>
太田恒有 氏 (株式会社モスフードサービス・取締役上席執行役員営業本部長)
竹下英明 氏 (横浜国立大学教育学部附属横浜小学校PTA役員会および若梅後援
会・副会長)
マセソン美季 氏 (同上)
花岡伸和 (同上)
- 16:55 【閉会の挨拶】
- 17:00 【エンディング】
『オヤジ〜ズの語り場ーオヤジたちの二次会ー』



パネルディスカッション①

インクルーシブ教育が進む中学校現場での課題や支援の在り方を、現場の声と当事者の経験をもとに考えます。横浜市の現職教員や附属横浜中学校教員が直面する課題と未来への取り組みを共有します。
また、障害当事者である横浜国立大学の長見氏が義務教育での支援経験を語り、弁護士の菅原氏に合理的配慮の考え方について説明いただきます。

パネルディスカッション②

インクルーシブ教育の実現に向けて、学校だけでなく、社会全体で支え合うためには何が必要でしょうか。本シンポジウムでは、教育現場、地域、企業など、多様な分野の視点から未来への道筋を探ります。パネリストのそれぞれの経験と視点を通じ、インクルーシブな社会を築くために求められる役割と行動について深く議論します。

※随時、インスタグラムで情報更新いたします。



YNU_DIVERSITY_INCLUSION